

# 2026年「AIロボティクス戦略」：フィジカルAIで切り拓く日本の再起

2040年市場目標：20兆円 世界シェア3割超の獲得を目指し、日本をAIロボティクスの「第三極」へ  
「危機管理投資」としての1兆円投資と、LLMからフィジカルAI（VLM/VLA）へのパラダイムシフト

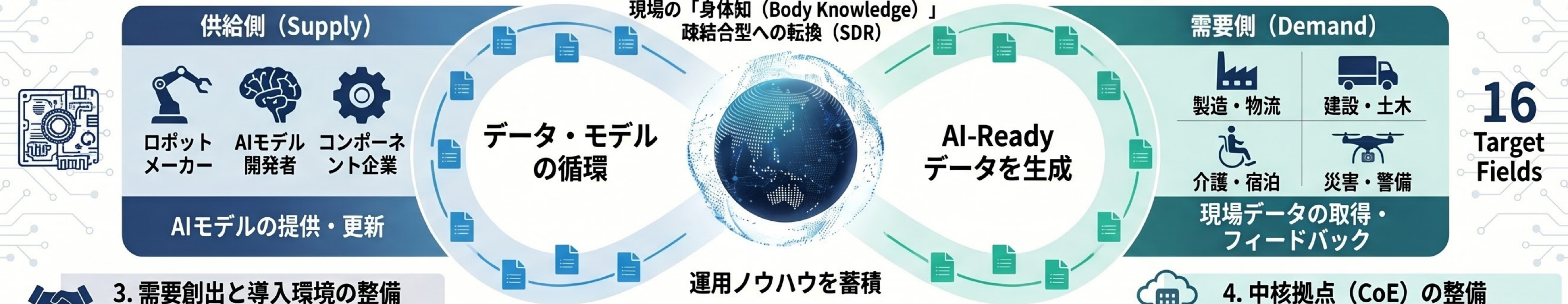


1. 設計開発・生産基盤の強化  
System to Silicon戦略  
エッジAI半導体基盤

## AIロボティクス・エコシステムの好循環



2. 国産基盤モデルとデータ循環  
2027年6月 国産ロボット基盤モデル（OSS）  
AI-Readyデータスペース



3. 需要創出と導入環境の整備  
Sier育成  
官公衛を活用したアンカーテナンシー



4. 中核拠点（CoE）の整備  
サイバー・フィジカル一体運用ハブ  
学習・検証・改善の高速化

## 産業別社会実装ロードマップ（16分野の展開）

短期（～2030年）：見廻る・動かす



製造・物流  
溶接、自動搬送、ピッキング  
(課題：80W阻の安全基準、防火基準)



建設・土木  
墨出し、インフラ点検  
(課題：GNSS不負環境での自己位置推定、電波法・航空法)



介護・宿泊  
清掃、配膳、データ記録  
(課題：接験事故の責任分界点、エッジ処理のプライバシー保護)



災害・警備  
巡回点検、状況確認  
(課題：暗所・逆光等の環境適応、公道走行)

中長期（2030年～）：指作業（巧機動作）



介護での身体介助



複雑な部品の分解・組立

力加減や高度な判断を要する作業へ拡大

制度的障壁の打破：労働安全衛生法（80W規制）や消防法、道路交通法などの抜本的改革により、AIロボットの実装を加速させる